1. Course Description

総合実習ではアスレティックトレーナーとしての7つの業務運営が正しくできているかを評価し、修正、改善できることが重要である。また、積極的に選手、コーチ、監督およびスポーツドクターとの関係を築き、円滑な業務運営ができるようになることである。各自が前年度行った現場実習先の中から一つのスポーツ分野を選択し、これまでに学んだ知識の上に種目特異性の知識をさらに深め専門性を高めるために、現場実習のAT(3年)と行動をともにして学び、現場のニーズにあったプログラム提供および一歩進んだアスレティックリハビリテーションの実践を行う。この実習を通して豊かな人間性と高い倫理観およびコミュニケーションスキルを身につけたアスレティックトレーナーを目指します。

2. Course Objectives

アスレティックトレーナーの7つの役割について説明できる。
コンディショニングプログラムの内容についてチームリーダーとして説明し、円滑な指導ができる。
測定評価の計画を立案し、チームのリーダーとしてデータをもとめ対象者に説明できる。
各種アスレティックリハビリテーションの内容についてリスク管理ができる。
ソープノートに基づくアスリハの計画および実施ができる。後輩トレーナーをまとめあげてトレーナーチームとしての円滑な組織運営ができる。

3. Grading Policy

毎回の総合実習レポート50%(詳細な実習内容の記述、3年生への指導内容)、報告会プレゼンテーション50%で評価する。

4. Textbook and Reference

Textbook

日本体育協会アスレティックトレーナー専門科目テキスト

5. Requirements(Assignments)

適切な身だしなみ、態度、言葉遣い、連絡、報告などをしっかりと行う。

6. Note

7. Schedule

- [1] オリエンテーション
- [2] 現場での緊急時対応(シミュレーション)
- [3] 総合実習①
- [4] 総合実習②
- [5] 総合実習③
- [6] 総合実習④
- [7] 総合実習⑤
- [8] 総合実習⑥
- [9] 総合実習⑦
- [10] 総合実習⑧
- [11] 総合実習⑨
- [12] 総合実習⑩
- [13] 総合実習報告プレゼンテーション①
- [14] 総合実習報告プレゼンテーション②
- [15] 総合実習報告プレゼンテーション③